

# 温泉成分・禁忌症・適応症 揭示表

利用許可 施設名	
利用許可番号	年 月 日 保第 号

- 1. 申請者** 住所 栃木県那須塩原市新朝日 5-35  
氏名 新那須温泉供給株式会社 代表取締役 稲川隆太
- 2. 源泉名及び湧出地** 源泉名 稲川源泉1号・稲川源泉2号・稲川源泉3号・稲川源泉4号  
湧出地 苦土稲川1号・苦土稲川2号・県電気局 B-3号混合泉  
採取場所 栃木県那須郡那須町大字湯本字那須岳国有林 137 は林小班外ほか 紅葉橋源泉
- 3. 湧出地における調査及び試験成績**  
(1) 調査及び試験者 一般社団法人 栃木県薬剤師会検査センター 上野一利 山崎聡  
(2) 調査及び試験年月日 2017年7月28日  
(3) 泉温 54.7℃ 気温 26℃ (調査時)  
(4) 利用量 - - ㎥/分  
(5) 総湧出量 540.0 ㎥/分 掘削自噴 動力揚湯  
(6) 知覚的試験 乳白色混濁、強苦味、渋味、強硫化水素臭を有する  
(7) ph値 5.8  
(8) ラドン含有量 - - ×10<sup>2</sup> Ci/kg(- - M.E/kg)  
(9) 電気伝導率 80.5 mS/m (25℃)

- 4. 試験室における試験成績**  
(1) 試験者 一般社団法人 栃木県薬剤師会検査センター 藤本 亨 上野一利  
(2) 分析終了年月日 2017年8月16日  
(3) 知覚的試験 (採取 48 時間後) 乳白色混濁、強苦味、渋味、弱硫化水素臭を有する  
(4) 密度 0.9989 (20℃/4℃)  
(5) ph値 5.77  
(6) 蒸発残留物 0.710 g/kg(130℃)

**5. 試料 1kg 中の成分、分量及び組成**

(1) 陽イオン				(2) 陰イオン				(3) 遊離成分		
成分名	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%	成分名	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%	成分名	ミリグラム	ミリモル
水素イオン (H <sup>+</sup> )	0.0	0.00	0.00	ふっ化物イオン (F <sup>-</sup> )	0.1	0.01	0.06	非解離成分		
リチウムイオン (Li <sup>+</sup> )	0.0	0.00	0.00	塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> )	19.2	0.54	5.96	硫酸 (H <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> )	0.0	0.00
ナトリウムイオン (Na <sup>+</sup> )	33.2	1.45	16.01	硫化水素イオン (HS <sup>-</sup> )	9.6	0.29	3.21	メタ亜硫酸 (HAsO <sub>2</sub> )	0.0	0.00
カリウムイオン (K <sup>+</sup> )	9.5	0.24	2.69	硫化物イオン (S <sup>2-</sup> )	0.0	0.00	0.00	メタケイ酸 (H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub> )	137.9	1.77
アンモニウムイオン (NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> )	0.0	0.00	0.00	チオ硫酸水素イオン (HS <sub>2</sub> O <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00	メタホウ酸 (HBO <sub>2</sub> )	0.4	0.01
カルシウムイオン (Ca <sup>2+</sup> )	112.8	5.63	62.33	チオ硫酸イオン (S <sub>2</sub> O <sub>3</sub> <sup>2-</sup> )	0.0	0.00	0.00	りん酸 (H <sub>3</sub> PO <sub>4</sub> )	0.0	0.00
マグネシウムイオン (Mg <sup>2+</sup> )	20.5	1.69	18.70	硫酸水素イオン (HSO <sub>4</sub> <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00	非解離成分計	138.3	1.78
アルミニウムイオン (Al <sup>3+</sup> )	0.0	0.00	0.00	硫酸イオン (SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	286.2	5.96	65.47			
マンガンイオン (Mn <sup>2+</sup> )	0.5	0.02	0.22	メタ亜硫酸イオン (AsO <sub>2</sub> <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00	溶存ガス成分		
第一鉄イオン (Fe <sup>2+</sup> )	0.0	0.00	0.00	炭酸水素イオン (HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	140.5	2.30	25.31	成分名	ミリグラム	ミリモル
第二鉄イオン (Fe <sup>3+</sup> )	0.0	0.00	0.00	炭酸イオン (CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup> )	0.0	0.00	0.00	遊離二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	373.7	8.49
銅イオン (Cu <sup>2+</sup> )	0.0	0.00	0.00	メタケイ酸水素イオン (HSiO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00	遊離硫化水素 (H <sub>2</sub> S)	173.2	5.08
鉛イオン (Pb <sup>2+</sup> )	0.0	0.00	0.00	メタけい酸イオン (SiO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00	溶存ガス成分計	546.9	13.57
亜鉛イオン (Zn <sup>2+</sup> )	0.0	0.00	0.00	メタほう酸イオン (BO <sub>2</sub> <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00	溶存物質計 (ガスを除く)	0.771g/kg	
カドミウムイオン (Cd <sup>2+</sup> )	0.0	0.00	0.00	水酸化物イオン (OH <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00	成分総計	1.318g/kg	
ストロンチウムイオン (Sr <sup>2+</sup> )	0.0	0.00	0.00	りん酸二水素イオン (H <sub>2</sub> PO <sub>4</sub> <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00			
バリウムイオン (Ba <sup>2+</sup> )	0.0	0.00	0.00	りん酸水素イオン (HPO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	0.0	0.00	0.00	(4) その他の微量成分		
クロムイオン (Cr <sup>3+</sup> )	0.0	0.00	0.00	りん酸イオン (PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> )	0.0	0.00	0.00	成分名	ミリグラム	
				よう化物イオン (I <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00	総水銀 (Hg)	0.0005	未満
陽イオン計	176.5	9.03	100	臭化物イオン (Br <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00	クロム (Cr)	0.005	未満
				亜硝酸イオン (NO <sub>2</sub> <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00	カドミウム (Cd)	0.005	未満
				硝酸イオン (NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	0.0	0.00	0.00	鉛 (Pb)	0.005	未満
				陰イオン計	455.6	9.10	100	銅 (Cu)	0.005	未満
								総ひ素 (As)	0.005	未満

**6. 泉質 単純硫黄温泉 (硫化水素型) (低張性弱酸性高温泉)**

- 禁忌症**  
浴用の一般的禁忌症  
病気の活動期 (特に熱があるとき) 活動期の結核 進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合 少く動くと息苦しくなるような重い心臓病又は肺の病気 むくみのあるような重い腎臓の病気 消化管出血 目に見える出血があるとき 慢性の病気の急性増悪期
- 泉質別禁忌症  
皮膚又は粘膜の敏感な人 高齢者の皮膚乾燥症
- 適応症**  
浴用の一般的適応症  
筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり (関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期) 運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下 (胃がもたれる、腸にガスがたまるなど) 軽症高血圧 耐糖能異常 (糖尿病) 軽い高コレステロール血症 軽い喘息又は肺気腫 痔の痛み 自律神経不安定症 ストレスによる諸症状 (睡眠障害、うつ状態など) 病後回復期 疲労回復 健康増進
- 泉質別適応症  
自律神経不安定症 不眠症 うつ状態 末梢循環障害 アトピー性皮膚炎 尋常性乾癬 表皮化膿症 慢性湿疹

## 浴用の方法及び注意事項

- ア. 入浴前の注意**  
(ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。  
(イ) 過度の疲労時には体を休めること。  
(ウ) 運動後 30 分程度の間は身体を休めること。  
(エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。  
(オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をした温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。  
(カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないように、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。
- イ. 入浴方法**  
(ア) 入浴温度：高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。  
(イ) 入浴形態：心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。  
(ウ) 入浴回数：入浴開始後数日間は、一日当たり1～2回とし慣れてきたら2～3回まで増やしても良いこと。  
(エ) 入浴時間：入浴温度により異なるが、1回あたり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長しても良い。
- ウ. 入浴中の注意**  
(ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。  
(イ) 浴槽から出るときは、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。  
(ウ) めまいが生じ、又は気分が不良になった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。
- エ. 入浴後の注意**  
(ア) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上保温及び30分程度の安静を心がけること (但し肌の弱い人は、刺激の強い泉質 (例えば酸性泉や硫黄泉等) や必要に応じて塩素消毒が行われている場合には、温泉成分を温水で洗い流した方がよいこと。  
(イ) 脱水症状を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。
- オ. 湯あたり**  
温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らしこのような状態からの回復を待つこと。
- カ. その他**  
浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルを入れないこと。

この分析成績は衛生検査指針の温泉中分析法による。

分析年月日 平成 29 年 8 月 16 日  
分析機関名 一般社団法人栃木県薬剤師会